

令和4年度池田市SDGs宣言に対する 取組実績及び今後の方向性

令和4年度SDGs宣言は、SDGsが2030年までの達成を目標に掲げるものであることを踏まえ、これに向けて令和4年度の本市の姿勢と取組に関する方針を示すために各部局が宣言するものです。

この宣言を踏まえた令和4年度の実績及び令和5年度以降のSDGsに関わる課題や取組の方向性について、各部局より示されました。



私たちは持続可能な開発目標（SDGs）を支援しています。

地域住民や各種団体との協働および各種情報の収集・発信を行い、
安心・安全で魅力ある社会の実現に努めます。



宣言を踏まえた取組実績

地域の特徴や課題を整理し、「まちの将来イメージ」・「まちづくりの方向性」を明確化することで、地域と市が協働して地域のまちづくりに取り組むための指針とする「地域ビジョン」を策定した。また、広報誌やホームページ、各種SNSをメインとした情報発信を積極的に行った。さらに、安全・安心のために「ほっかほっか亭総本部」と災害協定を締結し、市からの要請を受けて、避難所において、温かい食事の提供ができるように協力関係の構築を行った。

今後の方向性

令和5年度以降については、策定した「地域ビジョン」に沿ったまちづくりを推進する。また、積極的な情報発信を引き続き行っていくとともに、自主防災組織との連携による防災訓練の充実を図り、地域防災力の向上に努める。

池田市SDGs推進プラットフォームを構築することで、多様な主体と地域課題について考え、解決につなげていきます。



宣言を踏まえた取組実績

令和5年1月に池田市SDGs推進プラットフォームのキックオフ会合を実施。SDGs経営やパートナーシップに係る基調講演の後、企業等をはじめとする参加者の交流会を行い、今後の連携・共創に向けての足掛かりとした。

今後の方向性

第7次池田市総合計画ではすべての施策とSDGsのゴールを紐づけており、各施策の推進とともにSDGsの達成に向けて取り組んでいく。また、引き続きプラットフォームを運用し、SDGsを通した多様な主体との連携、価値の創出をめざしていく。

ワークスタイルの多様化に対応し、奉仕者である職員自身にも幸せであり続けてもらうことで、行政サービスのさらなる向上をめざします。



宣言を踏まえた取組実績

勤務時間の弾力運用を推進し、業務と育児・介護などの家庭生活との充実を図った。また、コロナ禍における感染拡大防止だけでなく、時間や場所にとらわれない柔軟な働き方を実現するためにテレワークを推進した。

今後の方向性

今後も勤務時間の弾力運用やテレワークを引き続き推進し、職員のワーク・ライフ・バランスの向上を図る。また、多様化するワークスタイルに対応した人事施策を研究・検討し、職員が生き生きと働くことができる環境整備を進める。

脱炭素社会の実現に向けた再生可能エネルギー設備の導入などの検討や、環境学習の推進により、持続可能な社会環境を創ります。



宣言を踏まえた取組実績

環境にやさしい機器（太陽光発電設備など）設置費補助などの既存事業を継続しながら、令和4年度は地球温暖化防止実行計画（事務事業編）の改定を実施し、本市の事務及び事業によって排出される温室効果ガスの排出抑制に、より一層注力して取り組んだ。また、省エネ家電の購入に係る補助事業を新規に実施し、地球温暖化対策への意識醸成を図っている。

環境学習については、「池田市環境学習基本方針」に基づき、行政・事業者・地域団体・市民とのネットワークと本市の豊かな地域資源を活用した環境学習プログラムの実施等に継続して取り組んだ。

今後の方向性

令和5年度では、再生可能エネルギーポテンシャル調査の中で、本市の現状や課題を整理し、再生可能エネルギー導入目標の設定や達成に向けた施策を検討していく。

環境学習については、引き続き「池田市環境学習基本方針」に基づき、第7次総合計画や環境基本計画の目標実現に向け、環境学習の更なる推進を図っていく。

地域における生活課題に関する相談を、多機関の協働のもとで包括的に受け止め、支援する体制を整備します。



宣言を踏まえた取組実績

次期地域福祉計画（令和5～9年度）について、市と共に地域福祉の両輪を担う、社会福祉協議会の地域福祉活動推進計画を初めて一体的に策定。包括的な支援体制の構築に向けて、市と社協、住民それぞれの役割や取組を記載。

今後の方向性

第4期地域福祉計画の普及啓発に努め、住民の地域福祉への関心を高めるとともに、多機関協働による支援体制や幅広い主体が参画するプラットフォームの整備を進めることで、包括的な支援体制の構築をめざす。

一人一人のニーズに沿った適切な支援を行い、誰もが未来に夢と希望をもって、健やかに生きていくことができる社会をつくりまします。



宣言を踏まえた取組実績

保健事業の推進や、地域の子育て支援機能の充実を図り、妊娠・出産から子育て期をはじめ、各年齢層に応じた支援を行った。また、新型コロナウイルスの感染拡大防止対策を行うとともに、生活支援として子育て世帯への給付金の支給を行った。

今後の方向性

保育需要に対応するため、保育士の確保や保育施設の整備に対する補助等を行い、保育の質の向上と量の確保を推進する。また、妊産婦や子育て世帯に向けて、時勢に応じた利用者目線の施策を展開する。

良好な住環境形成や自然環境の保全・活用を図り、住む人・訪れる人が回遊し、「いけだの魅力」を感じられるまちづくりを進めます。



宣言を踏まえた取組実績

池田駅周辺について

エリアプラットフォームによる会議の開催運営のほか、せせらぎモール等の駅周辺の空間利活用に向けた社会実験イベント「おさんぽマルシェ」の実施、まちづくりの機運醸成に向けたシンポジウムの開催や、未来ビジョンの策定を行った。

細河地域について

農福連携事業について、実証実験を行っていくため、A Iハウス農園のテストベッドを整備し、A I等を活用した生産、流通、販売等のシステム検討を行った。

今後の方向性

池田駅周辺について

「せせらぎモール」をはじめ、駅周辺の公園やポケットパークなどの駅まち空間を居心地が良く歩きたくなる滞在空間にするため、使う側のアイデアを実証する社会実験イベント「おさんぽマルシェ」の開催のほか、まちづくりのワンストップ窓口となる仮拠点づくりを行い、まちの課題解決に取り組んでいく。

細河地域について

拠点施設整備については、引き続き検討を進めながら事業手法の検討、コンソーシアムの中から運営事業体の組成、法人化をめざす。あわせて、地権者との調整を行っていく。また、次世代型農園芸の生産・流通・販売等のシステム試行及び検証、官民連携コンソーシアムの運営などを行っていく。

五月山緑地や池田駅周辺についてグリーンインフラを推進し、『みどりゆたかな』魅力のあるまちづくりに取り組みます。



宣言を踏まえた取組実績

グリーンインフラ活用型都市構築支援事業を活用し、五月山緑地を含む池田駅周辺を緑化重点地区に定め、公園緑地、街路樹及び大雨など都市型災害に対する雨水貯留浸透施設等の整備に加えて、民有地緑化なども計画に位置づけ官民連携によりグリーンインフラを整備していくことで、環境、防災、地域振興を推進するために令和3年度に策定した池田市グリーンインフラ推進計画に沿って、令和5年度は五月山さくらプロムナード再整備工事の実施設計を行った。

今後の方向性

令和5年度は、五月山緑地において、さくらプロムナード再整備工事を実施、そのなかで老朽化した桜を植え替えなど緑を保全・増やす取組を進める。

令和6年度以降は、五月山緑地を含む池田駅周辺を緑化重点地区に定め、公園緑地や街路樹などの公共公益施設の整備や民有地緑化の推進、さらに都市型水害に備えとしての雨水貯留浸透施設等の整備など官民連携により計画的にグリーンインフラ整備を推進する。

防災拠点となる施設や適正な人員確保のあり方の検討を進め、消防体制を充実させることで、災害などに対して備えていきます。



宣言を踏まえた取組実績

令和4年度において、防災拠点の適正な人員確保のあり方を検討し、増加する救急需要に対応するため令和5年3月議会において救急隊1隊を増隊する目的で、18名職員増の定数改正を実施した。

今後の方向性

令和5年度以降については、老朽化する施設の整備を早急に検討し、課題解決に向けて取り組んいくとともに、今後も消防体制を充実させるための適正な人員確保について引き続き検討を進め、災害などに対して備える。

令和4年度池田市SDGs宣言

上下水道部

安全な水道水、公衆衛生及び公共用水域の水質保全を確保し、健全な水循環を実現させ、美しい水を未来へ引き継ぎます。



宣言を踏まえた取組実績

水道事業においては、施設整備計画に基づき老朽管の更新と施設の耐震化を進めている。下水道事業においては、ストックマネジメント計画に基づき管渠や設備の更新及び重要幹線や施設の耐震化を進めている。雨水管整備については、下水道床上浸水対策計画に基づき神田地区貯留施設築造工事等を進めている。

今後の方向性

今後、人口の減少が見込まれ、収益が減少するなかで、施設の更新、耐震化にかかる財源を確保する必要がある。そのために中長期的な視点で水需要の動向を踏まえた事業運営に努めていく。

地域の基幹病院として、誰もが安心して受診できる医療体制を維持し、求められる医療需要に対応した診療機能の充実に努めます。



宣言を踏まえた取組実績

かかりつけ医等との連携を推進する地域医療支援病院に加え、豊能二次医療圏における急性期医療を担う地域の基幹病院としての機能を最大限維持しつつ、新型コロナウイルス感染症の拡大・収束の波に対し、当該感染症患者等を専用病棟に受け入れる重点医療機関として、軽症患者から重症患者に至るまで受け入れを行ってきた。

また、外来診療受診後の会計処理を待たずしての帰宅の実現により院内滞留時間を短縮し、副次的に新興感染症対策を図れる医療費後払いシステムの運用開始に向け準備に着手した。

今後の方向性

病院の役割・機能の最適化、医師、看護師等の確保と働き方改革、経営形態の見直し施設・設備の最適化、経営の効率化等を謳う経営強化プランの策定及びその具現化に資する各種取組の実施により、持続可能な地域医療体制を確保する。

地域の基幹病院として、誰もが安心して受診できる医療体制を維持し、求められる医療需要に対応した診療機能の充実に努めます。



宣言を踏まえた取組実績

国の新型コロナウイルス感染症対策臨時交付金を活用し、小学校、中学校、義務教育学校の給食内容の充実に努めるとともに、食育動画を作成し、各校へ周知した。

また、地域で採れた野菜を給食に使用した。

今後の方向性

引き続き食材費が高騰している中、市独自で小学校、中学校、義務教育学校の給食内容の充実に努める。

池田市の給食をより知ってもらうため、インスタグラムによる発信を開始する。

令和4年度池田市SDGs宣言

教育部

子どもが自らの個性や能力を伸ばし、可能性を広げながら成長できるよう、豊かな人間性を育む特色ある教育を提供します。



宣言を踏まえた取組実績

令和4年度に、専門的な知識と経験を兼ね備えた「支援教育チーフコーディネーター教員」を学校に配置し、支援が必要な児童生徒一人ひとりの教育的ニーズに対応する支援教育環境を整えた。

今後の方向性

令和5年度は、池田市教育ビジョンの第3期プランの最終年度として、教育施策を推進するとともに、宣言の内容も盛り込んだ次期教育振興基本計画の策定に向けて取り組んでいく。

市民の代表である議員が市民の要望や意見を市政に反映できるよう、日頃から情報・資料の収集及び提供に努め、サポートしていきます。

17 パートナリシップで
目標を達成しよう



宣言を踏まえた取組実績

日頃から新聞記事やニュース等から、議員に必要であると考えられる情報を収集、蓄積し、事務局内で共有した。

また、議会改革の検討に必要な近隣市など他市の事例の調査や資料を作成するとともに、課題の対応策の提案を行った。

今後の方向性

引き続き、アンテナを張って情報収集に努め、事務局内で情報共有を図る。

また、議会の要望に迅速に応えられるように、どのような要望が出てくるかを想定しながら業務を進めていく。